



11/15

更生保護制度施行70周年記念 第32回九州地方更生保護大会

熊本県立劇場において、更生保護制度施行70周年記念 第32回九州地方更生保護大会が開催され、式典や東京大学名誉教授・熊本県立劇場館長の姜尚中（カンサンジュン）さんの講演「居場所のある社会」などが行われました。

式典で表彰状や感謝状を授与された人・団体は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

「九州地方更生保護委員会委員長表彰」

伊藤 正昭さん (西網道)

長尾 りえさん (北鹿野)

「熊本保護観察所長感謝状」

“社会を明るくする運動” 受賞者

竜北中学校



▲表彰を受ける竜北中の横井教頭

11/17

文化講演会 ～出張! ゴルゴ塾 命の授業～

氷川町公民館において、文化講演会が開催され、約250人もの来場がありました。

今年は、ゴルゴ松本さんをお迎えし「出張! ゴルゴ塾 命の授業」と題して講演が行われました。ゴルゴ松本さんのユーモアあふれる漢字にまつわる話があり、おなじみの「命」ポーズも飛び出すなど笑いの絶えない講演会となりました。



▲ゴルゴ松本さん

11/17

桜っ子クラブ タグラグビー

すばやく竜北において、桜っ子クラブタグラグビーが行われ、25人の子どもたちの参加がありました。

タグラグビーとは、通常のラグビーとは違い、ボールを持った選手にタックルするのではなく、腰についたヒモ（タグ）を奪って止めるスポーツです。

ラグビーワールドカップの熱気が冷めやらぬ中、講師の八代地区ラグビー協会の皆さんと一緒に元気いっぱい走り回りました。

最後は低学年と高学年に分かれて試合を行いとても盛り上がりました。



▲タグラグビーをする子どもたち

11/24

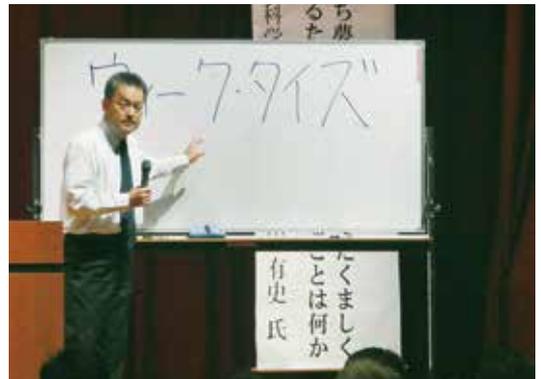
「希望のチカラ」

～次世代育成推進フォーラム～

文化センターにおいて、第14回「次世代」育成推進フォーラム in 氷川町が開催されました。今回は263人が参加し、東京大学社会科学研究所の玄田有史（げんだゆうじ）教授の講話を聞くことができました。

今回のテーマは「希望」。地域の宝である「氷川っ子」が希望を持ち、夢の実現に向かってたくましく生きていくために必要なことを学びました。参加者の皆さんは、次世代の希望「氷川っ子」のを中心にしながらも、自分の生き方に対する道標も手にされたようでした。

満員の会場に明るく温かな空気が満ちた、素敵な時間でした。



▲東京大学の玄田教授

【参加者の感想（一部抜粋・要約）】

- ◎壁にぶつかることを怖がるのではなく、その場で考え直したり、やり方を変えて工夫したりすることで希望が開けたりして生き甲斐を感じるのだなと思いました。（地域住民）
- ◎大きな壁にぶつかった時、その前でウロウロすることが大切だというお話が心に残りました。私もすぐに諦めず、「どうしたらいいか」をしっかり考えていこうと思います。私はまだ夢がしっかりと決まっていないけれど、これから探していこうと思いました。（中学生）
- ◎夢や希望を実現していく過程で必ずぶつかる壁。その壁の前でウロウロしている子どもたちに、地域の大人の一人として自分の背中を見せたり、生きるヒントになる一言がかけられたらいいなと思いました。（コミュニティ・スクール委員）

竜北西部小学校の坂本先生が優秀教職員表彰！！

竜北西部小学校の坂本稔先生が、令和元年度熊本県教育功労（優秀教職員）として表彰されました。坂本先生は算数科を中心にICTを活用した優れた指導力をお持ちで、子どもたちの学力向上に貢献されていることが評価されました。

坂本先生は、竜北東小学校に7年間、宮原小学校に7年間、今年度から竜北西部小学校に勤務されています。まさに「氷川町の宝」です。



▲坂本先生の丁寧な指導

「いつまでもお元気で」祝100歳 氷川町長寿表彰

樋口チヨ子さん（今）

広報誌や絵本を見ることがお好きで感想などもお話しになります。甘いものもお好きで、食べた後の笑顔にみんなが癒されているそうです。自分の思いをはっきり伝えられることが日々の元気につながっています。



▲樋口さんとご家族

松村ハナエさん（やすらぎ荘）

昔から体を動かすことがお好きで、病気をされたことはなかったそうです。

人の好い性格も長寿につながっているようです。

ご家族からは「これまで苦勞してきた分、長生きして欲しい。」とお話がありました。



▲松村さんとご家族